



報道関係各位

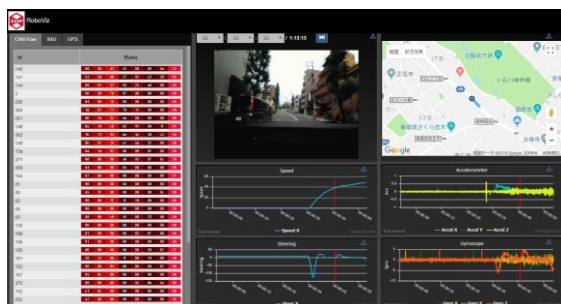
2018年7月20日
株式会社 ZMP

走行データ取得ソリューション「RoboTest®」の新サービス ロボ・データ・プラットフォームを発表

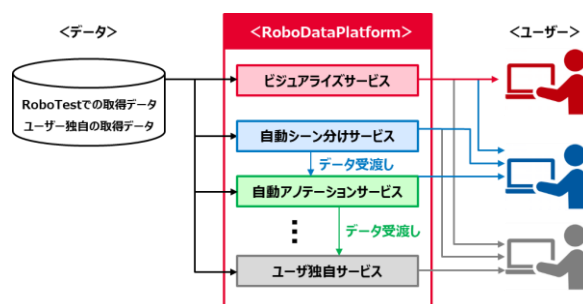
—データ解析や後処理を効率化する環境やアプリケーションを提供—
—専用サイトよりベータ版無償ライセンス登録を開始—

株式会社 ZMP(東京都文京区、代表取締役社長:谷口 恒、以下 ZMP)は、車両に関連する開発で必要となる走行中のデータ収集などで活用されている、データ取得ソリューション「RoboTest®」を提供して参りましたが、収集したデータやお客様の保有データへのタグ付け・分析や解析作業を総合的にサポートする新しいプラットフォームサービス「ロボ・データ・プラットフォーム(以下「RDP」)」を発表します。

本サービスは、ZMP が提供している走行データ取得ソリューション RoboTest®の新しいメニューとして開発されました。本プラットフォームでは、データを解析するため ZMP が提供する基本アプリケーションの他、ユーザー自身がアプリケーションを登録し、それら複数アプリケーションを連携してアウトプットを得ることができます。



ZMP の基本アプリケーションサービスの例
(ビジュアライズサービス)



RDP のサービスシステムイメージ
(複数サービスを組合せたアウトプットを得られる)

ZMP が提供する基本アプリケーションは、映像や車両操作データ、GPS、IMU といった走行時のデータを同時に表示するようなビジュアライズアプリ(左図)、車両の操作状態から自動で直進・右左折などのシーン分けを行うアプリ、さらに映像へ自動でラベル付けなどのアノテーションをするアプリなど、取得したデータを効果的に活用するためのアプリケーション群を提供します。

ユーザーは基本アプリケーションに加え、RDP 上で提供される API を利用してユーザー独自の分析アルゴリズムを実装したアプリケーションを登録し、ZMP の提供する基本アプリケーションとユーザーアプリケーションを組み合わせたり、アプリケーション間で処理後のデータを受け渡していくことができます(右図)。これによりユーザーは、目的に応じて保有するデータを効率的に処理・分析するツールとして利用することができます。昨今の自動車の ADAS 開発や自動運転技術の開発においては、様々なセンサーからの膨大なデータの解析や分析が必要となっており、そのデータ処理や分析のツールが求められています。RDP は、タグ付けなど収集したデータを分析・解析するための様々なアプリケーションを利用できるプラットフォームとなっており、お客様の研究開発の効率化を支援いたします。

本サービスは今秋にベータ版がリリースされ希望に応じて無償で配布され、実際の効果やユーザーの具体的な課題などを明確にしたうえで、正式リリースにむけてシステムの改善が行われる予定となっております。本日より専用サイト(<https://www.zmp.co.jp/products/robotest/rdp-resist>)にて募集を開始します。



【ロボデータプラットフォーム ベータ版無償ライセンス登録フォーム】

<https://www.zmp.co.jp/products/robotest/rdp-resist>

【公道走行データ計測サービス RoboTest®について】

ZMP が提供する、ドライバーによる公道走行データ取得支援サービス「RoboTest®」は、お客様の公道走行に懸かるデータ取得の企画段階からデータ分析までの支援を行うサービスです。数十人規模の走行も迅速に実施が可能なサービスです。

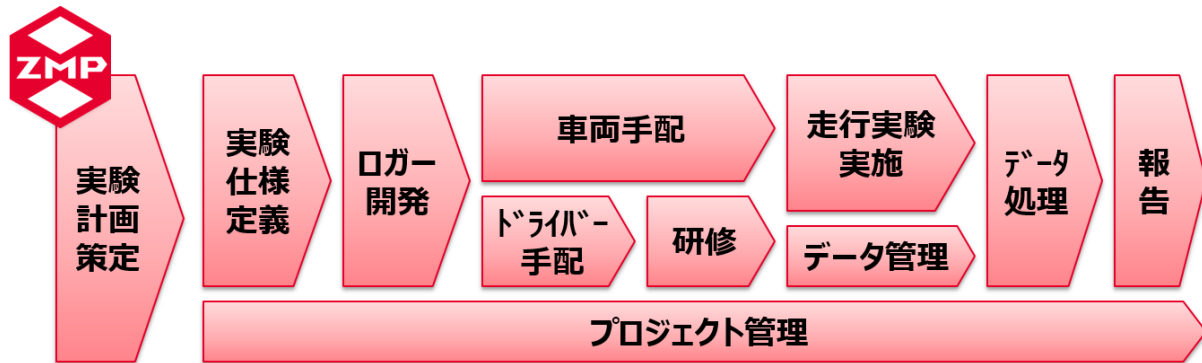


図 公道走行データ取得支援サービスのプロセス

< RoboTest®サービスの内容 >

- ① 走行データ取得のコンサルティング
- ② データ取得用システムの開発
(ハードウェア、ソフトウェア)
- ③ ドライバーの募集と管理、データ取得の運用
マネジメント
- ④ データ後処理(タグ付け、フォーマット変換等
お客様要求仕様にあわせて)
- ⑤ 取得データの分析と報告



写真 走行データ取得用センサー車両(乗用車)の例

実車実験走行サービス RoboTest® (ロボテスト)

<http://www.zmp.co.jp/products/robotest>

【本件に関するお問合せ】

株式会社 ZMP プラットフォーム事業部 TEL: 03-5802-6901/FAX: 03-5802-6908 Mail: info@zmp.co.jp

【株式会社 ZMP】

<http://www.zmp.co.jp/>

本社: 東京都文京区

代表取締役社長: 谷口 恒



「Robot of Everything 人が運転するあらゆる機械を自動化し、安全で、楽しく便利なライフスタイルを創造する」というミッションのもと、①ADAS(先進運転支援)、自動運転開発用プラットフォーム RoboCar®シリーズ及びセンサ・システム、②移動体メーカ(自動車、商用車、建設機械、農業機械、物流搬送機器、屋外作業機械等)向け自動運転等の開発支援、実験代行 RoboTest®, ③物流支援ロボット CarriRo®の開発・販売を行っています。また、2020年の自動タクシー®の実現に向け、公道での技術及びサービスの実証実験を重ねています。2017年からは日本初の歩道走行を目指す宅配ロボット CarriRo® Deliveryの実証実験を開始いたしました。ZMPはこれからも世の中に感動を与える製品やサービスを提供してまいります。